

短 報

北日本に分布するオオタヌキモ (小宮定志^a, 外山雅寛^b, 沖田貞敏^c, 柴田千晶^a)

Sadashi KOMIYA^a, Masahiro TOYAMA^b, Sadatoshi OKITA^c and Chiaki SHIBATA^a: *Utricularia macrorhiza* Le Conte is Distributed in Northern Japan

Utricularia macrorhiza Le Conte (Ann. Lyc. New York 1: 73, t. 6, fig. 2, 1824) は、北米中部から北部に分布する種として記載された。その後、シベリア北東部、カムチャッカ、サハリン、アムール流域、ウスリー流域から西はアルタイ山脈まで、そして、モンゴルと中国 (内モンゴル・吉林など) に分布することが知られている (Rebristaja et al. 1983, Taylor 1989)。従って北日本にも見出せる可能性が十分予測された。

1988年8月10日外山が北海道十勝管内中川郡豊頃町の溜池で水中茎の長さ2.64 mの巨大なタヌキモを採集したが (外山1988)、開花を見ることができなかったため同定が先送りされた。1992年8月27日小宮と柴田が同池を再調査して開花を確認し、*U. macrorhiza* と同定して和名オオタヌキモと名づけた (小宮1994)。実は既にその前年、1991年7月17日小宮と柴田は青森県西津軽郡木造町相沢溜池と新堤池で同じ「巨大タヌキモ」の開花株を調査し、これが *U. macrorhiza* であると同定していた。

また、1997年10月21日小宮と柴田は秋田県河辺郡雄和町戸賀沢で *U. macrorhiza* らしきものを採取したが、開花が見られず確かな同定は見送られた。ところが、1999年8月12日沖田によって開花株が同池で採取され、*U. macrorhiza* であることが確認された。さらに、1997年7月5日柴田がサハリンの Paromay の南3 km 地点で *U. macrorhiza* を採集した (小宮、柴田1998)。その後も多くの自生地が調査され、本州北部と北海道に *U. macrorhiza* が分布することが明らかとなった (Fig. 1; 小宮ら1997, 植松ら2000a, 2000b)。

しかし、これらの資料が北米産種と同一種であるかどうかの検討が十分でないと考えられたので、標本や写真などの資料を取り寄せたが、なかなか細部にわたる特徴が把握できなかった。一度自生地を訪ね、生きた材料を直接自分の目で観察して共通種であるかどうか、

そして、ヨーロッパ産の種 *U. vulgaris* L. との相違点なども確かめたいと念願していた。ようやく、2000年7月27日から8月6日にかけて米国西海岸沿いのカリフォルニア州西北部・オレゴン州・ワシントン州、そして、アラスカ州で *U. macrorhiza* の自生地10ヶ所を調査する機会を得て、北日本産種が *U. macrorhiza* であることを確認できたので (小宮ら2000)、ここに *Utricularia* の日本新産種として報告する。

オオタヌキモは、植物体が巨大というだけでなく、花冠の形状からタヌキモ *U. australis* R.Br. とは明瞭に区別できる。花冠はタヌキモより一回り大きく、仮面部が大きく盛り上がり微小な有柄腺をもつ、下唇の両側がやや垂れ下りタヌキモのような水平に横広がりとはならない。距は細長く12–18 mm で下唇の2/3から同長、湾曲して上屈し尖頭である。花茎は高さ10–40 cm で花後も伸長し、3–16花をつける。小花柄は8–15 mm と短く、花後垂下する。水中茎と葉片が巨大化し、葉片は基部で大小2片に分かれ、大型から小型 (1.5–5 mm 径) の捕虫囊を無数に着ける。それに対して、ヨーロッパ種 *U. vulgaris* の花茎は高さ10–25 cm で6–12花を咲かせ、小花柄は長さ6–12 mm で花後強く反曲する。そして、花冠下唇は両側が垂下し、距は短く幅広い円錐形で尖頭、やや斜上する。

確認できた国内産標本リスト：

北海道：宗谷郡猿払村浅茅野湿原，外山 9317–9323，5 Jul. 1999，枝幸郡浜頓別町ベニア原生花園，外山 9326–9342，5 Jul. 1999，標津郡標津町，細谷 9912，21 Aug. 2000，厚岸郡霧多布湿原ジュンサイ沼，滝田，24 Aug. 1996 (個人所有)，中川郡豊頃町，外山 4002–4009，10 Aug. 1988，小宮・柴田 4454–4456，27 Aug. 1992，美深町無名沼，外山 9343–9350，6 Jul. 1999，広尾郡大樹町キンモウトウ沼，滝田，12 Sep. 1995 (個人所有)，勇払郡鶴川町汐見，笈田・外山 9913–9922，30 Sep. 2000，笈田 9923–9954，2 Oct. 2000，



Fig. 1. Distribution map of *Utricularia macrorhiza* in Japan.

厚真町松の沼, 外山 9304-9309, 15 Jun. 1999, 三ヶ月湖隣接の沼, 外山 9310-9314, 15 Jun. 1999, 鶴の沼, 外山 9315, 9316, 15 Jun. 1999, 江別市角山, 外山 9615-9629, 16 Oct. 1999, 苫小牧市弁天沼, 小宮 3638, 19 Jul. 1987, 小宮 4233, 19 Aug. 1990, 小宮 4462, 4463, 28 Aug. 1992, 小宮 4900-4903, 28 Aug. 1994, 小宮 8403, 8404, 27 Jun. 1996,

外山 4671-4697, 11 Sep. 1993, 外山 8102, 8103, 24 Apr. 1994, 外山 9290, 9291, 11 Apr. 1999, 弁天沼北西岸, 小宮 9790, 7 Jul. 2000, 海岸沼, 外山・勝俣・植松 9527-9529, 6 Sep. 1999, 小宮・柴田 9791, 7 Jul. 2000, 柏原東湿原, 外山 4708-4735, 3 Oct. 1993, 外山 8100, 8101, 24 Apr. 1994, 小宮 8405, 27 Jun. 1996, 小宮 9792, 9793, 7 Jul. 2000,

- ウトナイ湖北東岸, 外山 4317-4327, 29 Jul. 1991, 外山 4529-4537, 4549, 23 May 1993, 外山 4641-4647, 21 Aug. 1993, 外山 4843-4847, 11 Aug. 1994, 小宮 4894, 4895, 28 Aug. 1994.
- 青森県: 西津軽郡木造町相沢溜池, 小宮・柴田 4288-4291, 17 Jul. 1991, 外山・勝俣 9056-9062, 9 Sep. 1998, 新堤池, 小宮・柴田 4292-4295, 17 Jul. 1991, 小宮, 柴田 4919-4927, 30 Aug. 1994, 大滝沼南東1 kmの池, 外山・勝俣 9065, 10 Sep. 1998, 上沢辺沼の北1 kmの池, 外山・勝俣 9075-9079, 11 Sep. 1998, 勘助沼の西の沼, 外山・勝俣 9080-9086, 11 Sep. 1998, 治右エ門沼, 外山・勝俣 9087-9091, 11 Sep. 1998, 治右エ門沼湿原, 外山・勝俣 9092-9106, 11 Sep. 1998, 木造町無名沼, 外山・勝俣・植松 9530-9534, 9550-9553, 28 Sep. 1999, 外山, 勝俣, 植松 9554-9570, 29 Sep. 1999, 蔭の沼溜池, 外山・勝俣・植松 9535-9549, 28 Sep. 1999, 作沼, 外山・勝俣・植松 9576-9584, 29 Sep. 1999, 作沼の北の池, 外山・勝俣・植松 9585-9590, 29 Sep. 1999, 鯉ヶ沢町, 外山・勝俣・植松 9571-9575, 29 Sep. 1999.
- 秋田県: 河辺郡雄和町戸賀沢, 小宮・柴田 8834-8838, 21 Oct. 1997, 沖田 9630, 12 Aug. 1999.
- 国外での採集品リスト:
- U.S.A.: California. Earl Lake, Crescent City, 小宮他 9833-9839, 28 Jul. 2000.
- Oregon. J. M. Honeyman Memorial State Park, 小宮他 9826, 28 Jul. 2000, Siuslaw National Forest (milepost 203), 小宮他 9827-9832, 28 Jul. 2000.
- Washington. Silver Lake, 小宮他 9840-9842, 30 Jul. 2000, Summit Lake, 小宮他 9843-9846, 31 Jul. 2000.
- Alaska. Meadow Lake, 小宮他 9847, 1 Aug. 2000, Rainbow Lake, 小宮他 9848-9850, 1 Aug. 2000, 10 km S of Nanana, 小宮他 9851-9854, 2 Aug. 2000, Smith Lake, Fairbanks, 小宮他 9855, 2 Aug. 2000, Donnelly Valley, 小宮他 9856, 9857, 3 Aug. 2000.
- Russia: Sakhalin. 3 km S of Paromay (Okha-Nogliki), 柴田 8719-8729, 5 Jul. 1997.
- (注) 個人所有以外の標本はすべて
日本歯科大学生物学教室収蔵

引用文献

- 小宮定志 1994. 食虫植物—その不思議を探る. p. 98. 食研事業出版, 東京.
- , 柴田千晶 1998. サハリンの食虫植物探査行の成果報告. 日本歯科大学紀要 (27): 141-165.
- , 外山雅寛, 柴田千晶, 勝俣員伊 1997. 北海道産の食虫植物. 日本歯科大学紀要 (26): 153-188.
- , ——, 植松 茂 2000. 米国オレゴン州・アラスカ州の食虫植物探査の成果. 食虫植物研究会誌 51 (4): 107-111.
- Rebristaja O. V., Taraskina N. N., Tzvelev N. N. and Jurtzev B. A. 1983. Lenticulariaceae. Fl. Arctica URSS VIII, 2: 7-16.
- Taylor P. 1989. The genus *Utricularia*. pp. 594-598. HMSO, London.
- 外山雅寛 1988. 北海道東部十勝管内中川郡豊頃町よりタヌキモの新分布記録. 食虫植物研究会誌 39 (4): 105-112.
- 植松 茂, 勝俣員伊, 外山雅寛 2000a. 1999年北海道食虫植物調査報告書. 食虫植物研究会誌 51 (1): 15-22.
- , ——, —— 2000b. 津軽半島西部の食虫植物調査 II. 食虫植物研究会誌 51 (2): 45-50.
- (^a日本歯科大学生物学教室,
^b067-江別市
^c秋田県立西仙北高等学校)

新刊

□Paker J. G.: *Flora of Russian Arctic Volume III Salicaceae-Ranunculaceae* 472 pp. 2000. J. Cramer, Berlin (<http://www.borntraeger-cramer.de>). US \$ 138.00.

本誌は A. I. Tolmachev らが監修した「Arkticheskaya Flora SSSR」の英語版の第3巻で、

Salicaceae, Betulaceae, Urticaceae, Polygonaceae, Chenopodiaceae, Portulacaceae, Caryophyllaceae, Paeoniaceae, Ranunculaceae の9科におけるロシア北極地方の植物誌である。ロシア語版の「Arkticheskaya Flora SSSR」は1960年から1987年の間に10巻が出版され、英